

IOSSELLIANI T-02-IOS x ART #008

吉田和生 「Air Blue」

2012年7月12日(木) - 8月29日(水)

オープニングレセプション: 2012年7月12日(木) 19:00-21:00

at IOSSELLIANI T-02-IOS



「Air Blue」 2011 Digital Type C-print 1030x1456mm

本展では、先日群馬青年ビエンナーレ 2012 大賞を受賞し、注目の高まる吉田和生の個展を開催いたします。吉田和生は生命の起源を求め、木々の間から差し込む光を捉えます。撮影した写真を何層にも重ねることで、宇宙から見た地球の「青」を表現し、物事の創始と終焉を問いかけます。

「(前略)無数の木々に覆われ、一度踏み外すと、“どこからきたのか、どこへいくのか” 分らなくなる。薄暗い森の中、木漏れ日に照らされ、光の指す方へその体を向ける若葉を見た私は、ここに生命の源である光——“空の青”が持つ何か“ベクトル”のようなものを想起した。私はカメラを頭上に掲げ、視界をふさぐ木々の枝葉からわずかに見える空に向け、シャッターを切り、この生命の色の収集を図った。」—吉田和生

IOSSELLIANI では Autumn/Winter コレクションとして「Galaxy」をテーマとしたジュエリーを展開します。「宇宙」という共通項で結ばれた作品とジュエリーが創り出す空間をお楽しみください。また、群馬県立近代美術館での展示と同時期開催になりますので、この機会に是非ご高覧ください。

群馬青年ビエンナーレ 2012

会期: 2012年7月7日(土) - 8月26日(日) 9:30 - 17:00 ※月曜休館

会場: 群馬県立近代美術館 展示室 1

観覧料: 無料

<http://mmag.pref.gunma.jp/exhibition/bien.htm>

【アーティストプロフィール】

吉田和生 Kazuo Yoshida

1982年 兵庫県生まれ

2004年 滋賀県立大学人間文化学部生活文化学科卒業

展示

2012年 群馬青年ビエンナーレ2012(群馬、群馬県立近代美術館)

2012年 MP1 “拡張される網膜” (東京 G/P gallery)

2011年 ヨコハマトリエンナーレ2011 特別連携プログラム BankART Life Ⅲ(横浜、新港ピア)

2010年 トーキョーワンダーウォール2010 (東京、東京都現代美術館)

2010年 第2回写真「1_WALL」(東京、ガーディアン・ガーデン)

受賞

2012年 群馬青年ビエンナーレ2012大賞

2012年 TOKYO FRONTLINE 2012 入選

2010年 トーキョーワンダーウォール2010 入選

2010年 第2回写真「1_WALL」展 入選

2009年 ミオ写真奨励賞2008 入選

2008年 Amuse Art Jam 2008 in Kyoto 入選



吉田和生
(C)Daisuke Yokota

事後のブルー

写真は今、写真史の第 2 ステージへの移行期にある。被写体を記録し、「真実を写す」という第1ステージの歴史をへて、「デジタル化」と「コンテンポラリーアートとしての写真」という 2 つが大きな動因となって、それまでの写真表現と異なる「可能性」が噴出する最もエキサイティングな領域となった。そして同時に写真が、時代の流動性を最も反映するアートであることも写真の重要性を押し上げる理由だ。

吉田和生の作品「ブルー」は、「3.11 以降」という時代性をおびた、最も注目すべき「作品」である。東日本大震災と、福島第一原発事故による放射能汚染がもたらした、大きな時代の「切断感」「喪失感」は、「事件」が発生した当初以上に「事後」においてますます増大して行くだろう。すべての日常の物が、「あの日」を境に、「別の意味」をおびる。「同じ」なのに「同じ」でない。「事件」がもたらした「問い」は、政治・思想・生活・文化すべての領域におよんでいくのである。多くの写真家・アーティストが、その課題を解くべく、今も表現を模索している。

吉田和生は、「複雑さと純化」が同居した傑作をものにした。「ブルー」を傑作とあえて言うのは、自然や森のアニミズム。拡散する放射能。「ここ」と「そこ」。事前と事後。死と生。それらの「複雑さ」を、ミックスさせつつ、万物の頭上にある空のブルーへと純化せしめることを発見・発明したからだ。吉田の作品のもつ宗教的なまでの美しさは、「ここ」の森や、汚染された「そこ」の森の、1,000 枚以上の森のイメージが合成され、生みだされている。これは「3.11 以降の世界」における「美」のあり様の最初の例となるだろう。

僕は、吉田和生の「ブルー」の作品だけが展示されたシンプルで小さな空間を想像する。それは 3.11 以降の最初の瞑想空間になるだろう。「アブストラクト」は、西欧の神のアイコンの解体過程であったが、究極的に、そこから生まれた最良のものが、マーク・ロスコのチャペルであり、ジェームス・タレルの空であり、もう一つあげるならば、エイズによる免疫不全という死へと向かう中でデレク・ジャーマンが監督した映画『ブルー』であった。それらは皆、「複雑さと純化」を兼ね備えた神なき時代の宗教芸術なのだ。

吉田和生のブルーは、これらの先行表現につながるものと言ってよい。写真の第 2 ステージへの移行期というカオティックな中で、吉田和生がこの作品を生みだしたことは心から賛辞を送りたい。

そして同時に、吉田和生にこの作品を見事に仕上げてもらいたいと心から願う。「事後のブルー」、これはまちがいない、実に重要な作品となるだろう。

後藤繁雄

IOSSELLIANI T-02-IOS x ART #008



ローマで1997年に誕生したジュエリーブランド、IOSSELLIANI (イオッセリアーニ)。デザイナーはイタリア人のパオロ・ジャコメツリとロベルタ・パオルッチの男女2人組。イタリアの伝統的なジュエリーと独自のスタイルを融合させ、重厚且つ洗練されたジュエリーを発表しています。

デザイナー自身が内装も手掛けた日本で唯一の直営店 IOSSELLIANI T-02-IOS では、ご来店されたお客様にもっと素敵な時間を過ごして欲しいという思いから、IOSSELLIANI T-02-IOS x ART をスタート。

新商品の入荷やイベントに合わせて店内にアートを飾り、お客様をお待ちしています。ジュエリーケースはもちろんのこと、ショップコンセプトでもある「雷」のように刺激的な空間の中で、IOSSELLIANI のジュエリーをたっぷり堪能してください。

【Tribal deco, galactic appeal !】

IOSSELLIANI の頭上に広がる夜空を、ミステリアスで宇宙的なカラーパレットで表現した 2012 Autumn/Winter コレクション。

20's のスウィング”Golden age”、アールデコをイメージした、大胆かつ勇敢なライン。

伝統的なトライバル装飾の魅力を宇宙的な美学と色彩でプリミティブなスタイルに。

ジュエリーボックスに溢れんばかりの可能性が広がる、ファンタジックな世界観をぜひ店頭でお楽しみください。



【本企画に関するお問い合わせ】

IOSSELLIANI
T-02-IOS

150-0001 東京都渋谷区神宮前5-1-15 2F
Tel: 03-3797-1508
Email: t_02_ios@hpgrp.com
URL: www.hpfrance.com/iosselliani/
Open: 11:00-19:30(不定休、年末年始を除く)

【アーティストに関するお問い合わせ】

hpgrp
GALLERY TOKYO

150-0001 東京都渋谷区神宮前5-1-15 B1F
Tel: 03-3797-1507
Email: art@hpgrp.com
URL: www.hpgrpgallery.com
Open: 火~日11:00-19:30 月曜定休

